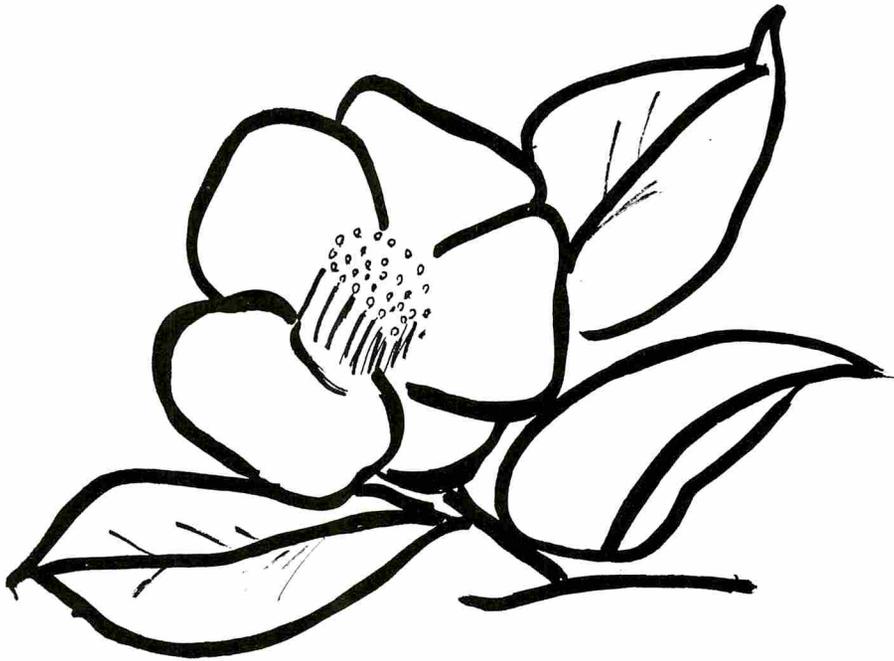


第 15 号

1995.HOYU

朋友



佼成看護専門学校同窓会

第 8 回 同窓会 開催

同窓会総会に寄せて

同窓会会長 浜田みどり

年明け早々に
阪神大震災に見
舞われ、地下鉄
サリン事件と、



度重なる想像を絶する事件の続く中、あえて
規約どおり総会を開催することになりました。
た。

そして、新宿異臭事件騒ぎにより出席を見
合わせた人もいらつしやるのではないかと思
われましたが、平成三年度より役員会で検討
を重ねて参りました一・終身会費導入制に関
する議案、二・定期総会以外に小規模の会開
催に関する議案（主にお世話になった先生方
の送別・懇親会）などについてご承認いただ
くことができました。

つまり、一・同窓会会費は2万円までの支

払を終身会費とし、支払期間は問わない。二・

定期総会は従来どおり五年に一回行う。一度

欠席すると十年後となるため間が長いという

意見も加味し、長く在職しご指導いただいた

先生を囲んでの小さな会を、随時総会の間で

開催していくこととなりました。同窓会会員

も千百八十四名、この内百八十二名は住所不

明者、七名は鬼籍に入られました。

現在就業婦人として働いておられる方々、

あるいは職業としてではないにしろ子育てを

しながら社会活動に参加していらつしやる

方々と、多様な背景で過ごされている皆様に

フィットした同窓会活動ができていない現状

です。活動内容についての検討も従来の進め

方で、参りましたが、役員の中でもなかなか

案が浮かびません。

今後どんな内容でも結構ですので、どしど

しクラス役員まで活動に対する意見をお寄せ

下さい。

最後になりましたが、役員一同は皆様方の

益々のご健康とご活躍をお祈り致しておりま

す。

同窓会報告

平成七年七月二十三日中野サンプラザにて

開催されました。総会は四十三名、本会は九

十名プラス二十数名の子供たちが参加し大変

にぎやかで盛会でした。

総会では、一、活動報告 二、会計報告

三、会計監

査の報告

四、同窓会

会費の徴収

について

五、今後の

同窓会のあ





り方について 六、新役員決定などが話し合
われしました。

一、活動報告について・五年間の報告、本
年は阪神大震災のために三十万円寄付したこ
との報告がされました。

二、会計報告・五年間の報告

三、会計監査は異常なしとの報告がされま
した。

四、同窓会会費の徴収について・朋友にも
載せて意見を求めましたが意見がなく、今回
の討議のテーマとなりました。……支払わな
い人などがいて困る。いつまで支払うのか、
などの声があり、終身会費の方が良いのでは、
などの意見もありました。看護学校在籍中に
集める方法もあるのではないかという意見も

出されました。決定 ↓終身会費制として二
万円とする。支払方法は、会計の記録を見な
がら未払者に連絡する。支払方はその人によ
る。

五、今後の同窓会のあり方について・同窓
会が五年毎では間隔が空きすぎ、新卒業生が
なじみにくいのではないか、都合の悪い人は
次の総会まで十年と長いなどの意見が出され
ました。会計からは同窓会を開催するのに経
費がかかるので会費を上げないといけない
等、総会は五年に一回、小さなコスモスの会
など気軽に
やってみて
はどうかと
いう意見が
出された。
決定 ↓五
年に一回同
窓会、途中
にコスモス
の会を行



う。内容は講演会を流動的に行う。講師は身
近な人や値段的に交渉できる人を捜す。同窓
会に招待する先生をどうするかということ
話し合い部外講師にも招待状を出したいとい
うことになる。

六、新役員決定

会長 浜田みどり 副会長 鳥海優子

会計 松崎美香 遠藤裕子

会計監査 小笠原ひろこ 稲垣由美子

書記 高木貴美

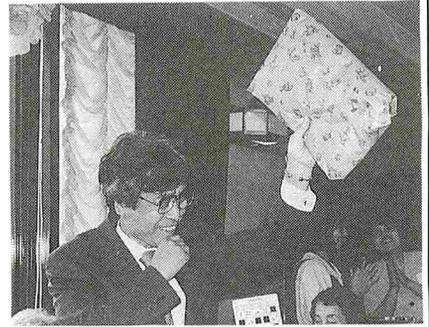
同窓会は本多
伸代さん、小松
恵子さんの司会、
浜田会長の挨拶
で開催されまし
た。名誉顧問小
野田先生を始め、
現校長の藤田先
生も参加して下
さり、同窓会へ



の励ましの言葉をいただきました。今回は昨年退職された小林校長、川崎先生の謝恩も兼ねておりましたが、小林先生がご都合が悪く欠席されました。『皆様にくれぐれもよろしく。記念品をありがとうございます。』とのメッセージをいただきました。川崎先生の懐かしい顔、元気なお姿で



現在も相変わらず忙しいと話して下さいます。お二人には同窓会より感謝の気持ちを込めて記念品を贈らせていただきました。



スピーチは見
林友子さん、中
村恵子さん、平
田藤子さん、石
井志鶴子さん、
杉本睦子さん、
村松恵さん、成
田美枝子さん、
清水晴美さん、河原畑佳子さんたちが現在の近況や看護学校の思い出などを話して下さいました。

ビンゴゲームでは一番に久保田先生が商品を当てられたり、そのほかにも多くの方たちがリーチ、ビンゴ、の声を上げ続々商品を手にしていました。
久しぶりに合わせる懐かしい顔で会場のあちらこちらで歓声が上がります。年の話、白髪の話など聞かれるのも歴史の流れでしょうか。...

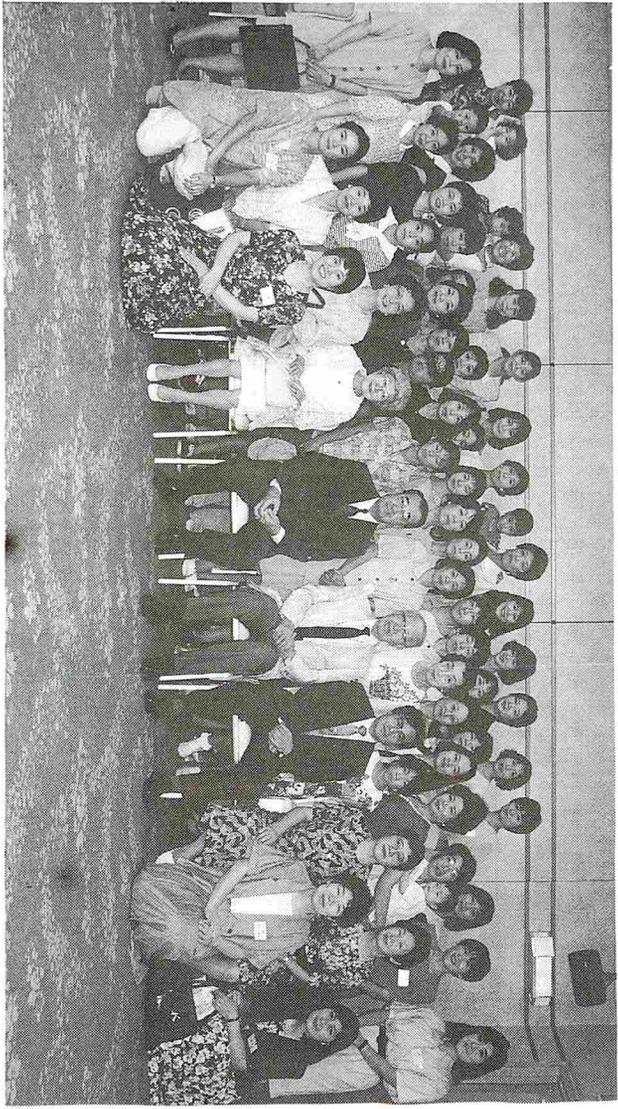
クラスでの参加も多くなごやかな中で行わ



れました。あつという間に時間も過ぎ、鳥海副会長の挨拶で五年後の開催を約束し閉会しました。

これを機会に
クラス会を開きましようとの声もあり、二次会へ流れる人たちもいたようです。前日団参会館ではクラスメイトや、その時出席した人たちの会話で徹夜したという話が聞かれました。次回は五年後、途中一回はコスモスの会を行うことで同窓会の意識を高めていきたいという役員の方たちは語っていました。精進を続け、悔いのない人生を送られることを願っています。





同窓生の近況報告

看護学校教師として

小松 恵子



同窓生の皆様初めまして
私は、14期生の小松恵子です。
平成7年度より看護学校の教員として新たな一歩を歩むこととなりました。昨年1年間は、教員養成講座の研修を受けさせて頂きました。久しぶりの座学で、30分もするとお尻や腰が痛くなり、働いていることのほうが良いなどと贅沢なことを考えていました。ところが、今度は教員として学生の前に立つということで、大いに舞い上がってしまい、何がなんだか分からず無我夢中の1年でした。私のようなものが教育者としてやっていて良いのだろうかと思ひ、昔もそうだったなと？年前の

自分を思い出したりしています。学生といることで今まで気付いていなかった自分と出会ってみたい、考えさせられたりむしろ学生に学ばせてもらっている毎日です。とにかくおつちよこちよいの私が、関わるのが一番の心配の種ですが、このおつちよこちよいと根っからの楽天主義で常に前向きに取り組んでいきたいと思っています。学校にお寄りの際は、いつでも声をかけて下さい。

在校生の近況報告

二十七期生

伊東 由子
伊藤 由美子

私達二十七期生は、十一月一日に戴帽式を迎え、ナースキャップを頂きました。

きますが、次の実習に向けて新たな教養を身につけたいと思います。

入学してから七ヶ月経ち、入学当時と今現在の看護間は、人によつては違っているかもしれませんが、一人一人が自分の理想とする看護婦を目指し、実現するように願っています。

一生に一度の戴帽式と、キャップを頂いての初めての实習は、忘れることなく自分の胸に焼きつけられたことでしょう。

又、私達は、十一月十三日から十七日まで倭成病院で実習を経験させて頂きました。キャップを頂いてから初めての实習なので、皆、期待と不安が入り交じり、緊張感あふれる様子が見受けられました。その実習も無事に終えることができ、また坐学の日々が続



24期生の紹介

外山めぐみ



私達24期生が看護学生ではなく、看護婦となつてから早いもので8カ月が過ぎようとしています。この8カ月間、私自身が感じたことを少し書かせていただきたいと思います。

4月に入職し、改めて看護婦としての責任の重さを感じながら毎日の業務に励んでいます。入職した頃、自分の仕事に対しての甘さや未熟さを感じ「何でこんなこともできないのだろう」と自分自身に腹を立て、何もできない自分にくやしさを覚え、一晩中部屋で泣いたこともありました。そんな時に私を励ましてくれたのは、上司である婦長さん、先輩家族、そして友人達でした。しかし、それ以上に私を励ましてくれたのはやはり患者さんの笑顔であり、言葉でした。そのときに「ああ患者さんもきっと同じなのだなあ」と共感することができました。看護婦という仕事は思っていた以上に忙しい仕事ですが、忙しさに笑顔を奪われず、いつでも笑顔で接している看護婦であり続けたいと思っています。

第24回記念歌

作詞 木原利佳 佐藤美香 西村美紀子

本田育子 飯島千恵子 渡辺江里子

作曲 飯島千恵子

編曲 花邑純子

一、一人一人の手 つないで行こう

みんなを支えあい 励ましながら

どんな時も ラララ

明るい笑顔 くじけず

いつか株立つ日のために

二、一人一人の目 見つめて行こう

そこから何かが 生まれてくるから

どんな時も ラララ

明るい笑顔 たやさず

いつか輝く日のために

平成6年度収支決算報告書 (H6.4~H.7.3)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|--------|-----------|----------|-----------|
| 前年度繰越金 | 2,519,190 | 経費 | 492,029 |
| 同窓会費 | 578,740 | 通信費 | 93,082 |
| 24期卒業時 | 88,000 | 印刷代 | 64,800 |
| 26期入学時 | 60,000 | 慶弔見舞金 | 18,540 |
| O B | 430,740 | 委員会運営費 | 7,607 |
| | | 雑費 | 400 |
| | | 事務処理バイト料 | 2,000 |
| | | 阪神大震災義援金 | 300,000 |
| | | 整理用引き出し | 5,600 |
| | | 次期繰越金 | 2,605,901 |
| | | 銀行預金 | 1,003,549 |
| | | 郵便預金 | 985,580 |
| | | 現金手有高 | 616,772 |
| 合計 | 3,097,930 | 合計 | 3,097,930 |

毎回、会費納入に際しましては、皆様の御協力を頂いており、感謝申し上げます。平成七年一月には阪神・淡路大震災という大災害が起き、この地域に住む多くの本会員への心ばかりのお見舞いを、との声があり、会費より三十万円を義援金として、日本赤十字社及び立正佼成会を介して、お送りさせて頂きましたことを御報告申し上げます。今後も、会費の使途に関して皆様のご意見、ご要望をお聞かせ下さい。

同窓会会計報告

役員名簿

会長 浜田みどり (山下)
 副会長 鳥海優子 (小野)
 会計 松崎美香 (松田) 遠藤裕子 (南野)
 会計監査 小林ひろこ 稲垣由美子 (鷺尾)
 書記 高木貴美 (近藤)
 クラス委員

クラス役員は各クラス毎に決めて報告していただいています。
 変更、誤りがあれば連絡下さい。

| Ⅰ科 | 氏名 (旧姓) |
|------|-----------------------|
| 1期生 | 細谷恵美子 (神田) 今西潤子 (日浦) |
| 2期生 | 篠原夏子 (小沢) 萩原美千代 (川上) |
| 3期生 | 依田典子 (牧瀬) 齊藤陽子 |
| 4期生 | 遠藤裕子 (南野) 塚田陽子 (須藤) |
| 5期生 | 瀬戸口恭子 (神沢) 田村嘉子 |
| 6期生 | 山田郁代 (松岡) 日比昌子 (関) |
| 7期生 | 白石りつ子 (新津) 熊本美智子 (渡辺) |
| 8期生 | 水谷友子 (池田) 田中祐子 (山谷) |
| 9期生 | 鈴木結加里 (恒松) 角谷恵子 |
| 10期生 | 小畑由美 (原田) 齊藤久美子 |
| 11期生 | 谷口重子 (新井) 竹田慶子 |
| 12期生 | 大山美代子 (松崎) 高野美香 (長尾) |
| 13期生 | 高野美樹 慶留間美由紀 (長尾) |
| 14期生 | 小松恵子 |
| 15期生 | 林貴美代 (河合) 高木貴美 (近藤) |
| 16期生 | 菊地悦子 (染谷) 角田由里 (大島) |
| 17期生 | 清原美樹 高沢章子 |
| 18期生 | 常泉香奈江 |
| 19期生 | 館野知鶴子 服部美千代 |
| 20期生 | 春木千穂 田中泉 |
| 21期生 | 小杉育英子 内田景子 |
| 22期生 | 宮下亜紀 鈴木美和 |
| 23期生 | 古田貴保 山田七夏 |
| 24期生 | 外山めぐみ 石川りえ |

| Ⅱ科 | 氏名 (旧姓) |
|------|----------------------|
| 1期生 | 新井キサ子 浦田寿代 (前川) |
| 2期生 | 矢部美智子 島みどり (荻田) |
| 3期生 | 赤松幸子 (照沼) 高谷早苗 (和田) |
| 4期生 | 田辺和江 西川加代子 |
| 5期生 | 飛田たい子 佐々木秀美 |
| 6期生 | 稲垣由美子 (鷺尾) 佐藤清恵 (渡会) |
| 7期生 | 佐々木フミ子 |
| 8期生 | 朝妻晴美 山口悦子 |
| 9期生 | 井上幸江 大森ケイ子 |
| 10期生 | 岡田千秋 新井里枝子 |

平成6年度 同窓会活動報告

4月 26期生入学式 会長祝詞 花束贈呈
 同窓会説明会 副会長

5月 定例役員会 (顔合わせ、七年度総会について相談、朋友打ち合わせ他)

11月 26期生戴帽式 副会長祝詞 花束贈呈

12月 臨時役員会 (朋友発送作業)

3月 23期生卒業式 会長祝詞 花束贈呈

編集後記

今回は大変遅れて申し訳ありませんでした。首を長くされておられたことと、申し訳なく思っております。今回は予定どおり発行できるように頑張ります。

昨年は阪神大震災、サリン事件と異常な年でした。96年は良い年になるよう期待しています。

同窓会事務局

〒166 東京都杉並区和田一―三―十四

TEL 〇三―三三―八四―六一―六一
 佼成看護専門学校